

令和 8 年度採用

群馬県公立学校教員選考試験問題

中 学 校（ 保 健 体 育 ）

受験 番号	中保体	氏 名	
----------	-----	--------	--

注 意 事 項

- 1 「開始」の指示があるまでは、問題用紙を開かないでください。
- 2 問題は、1 ページから 6 ページまであります。「開始」の指示後、すぐに確認してください。
- 3 解答は、すべて解答用紙に記入してください。
- 4 「終了」の指示があつたら、直ちに筆記具を置き、問題用紙と解答用紙の両方を机の上に置いてください。
- 5 「退席」の指示があるまで、その場でお待ちください。
- 6 この問題用紙は、持ち帰ってください。

- 1 「中学校学習指導要領（平成29年告示）解説 保健体育編」について、次の(1)、(2)の問いに答えなさい。

- (1) 「第2章 保健体育科の目標及び内容 第1節 教科の目標及び内容 1 教科の目標」において、教科の目標は以下のとおり示されている。【 A 】に当てはまる言葉を書きなさい。

体育や保健の見方・考え方を働かせ、課題を発見し、合理的な解決に向けた学習過程を通して、心と体を一体として捉え、【 A 】
ための資質・能力を次のとおり育成することを目指す。
(以下、(1)～(3)略)

- (2) 「第3章 指導計画の作成と内容の取扱い 1 指導計画の作成」において、「保健体育科の目標を達成するためには、学習指導を計画的に、しかも効率よく展開する必要がある。」と示されている。中学校の3年間を見通した上で目標や内容を的確に定め、調和のとれた具体的な指導計画を作成する際、「生徒に関して考慮すべき事項」を1つと、「生徒以外に関して考慮すべき事項」を1つ書きなさい。

2 「陸上競技」の学習について、「中学校学習指導要領（平成29年告示）解説 保健体育編」を踏まえて、次の(1)～(3)の問いに答えなさい。

- (1) 「陸上競技」の第1学年及び第2学年の内容の取扱い、下表のとおりである。短距離走・リレー、長距離走、ハードル走、走り幅跳び、走り高跳びの5つの領域の内容を、アとイに振り分けて書きなさい。

【表】

領域及び領域の内容	1年	2年	内容の取扱い
【C 陸上競技】	必修		2年間でア及びイのそれぞれの中から選択
ア（ ）			
イ（ ）			

- (2) 第1学年「ハードル走」の授業において、複数のインターバル（例：6.5m、7.0m、7.5m）から自分に合ったインターバルを選択し、スタートから5台ハードルを走り越す活動を設定した。次の①、②の問いに答えなさい。

① この活動を実施する際、安全面で指導することを、具体的に2つ書きなさい。

② インターバルの走り方について、「中学校学習指導要領（平成29年告示）解説 保健体育編」では、例示として「インターバルを（ ）歩でリズムカルに走ること。」と示されている。（ ）に当てはまる歩数を数字と語句で書きなさい。

- (3) 第1学年「走り高跳び」の単元において、「単元の評価規準」を次の表のとおり設定し、授業での「知識」の指導と評価に「学習カード」を活用した。評価規準を踏まえ、「知識を評価するための学習カードの工夫」と「学習カードを活用した知識の指導の工夫」について、それぞれどのような工夫が考えられるか、具体的に書きなさい。

【表：単元の評価規準】

知識	①陸上競技は、自己の記録に挑戦したり、競争したりする楽しさや喜びを味わうことができることについて、言ったり書き出したりしている。 ②走り高跳びにおいて用いられる技術の名称があり、それぞれの技術での動きのポイントがあることについて、学習した具体例を挙げている。
技能	①リズムカルな助走から力強い踏切に移ることができる。 ②跳躍の頂点とバーの位置が合うように、自己に合った踏切位置で踏み切ることができる。
思考 判断 表現	①提示された動きのポイントやつまずきの事例を参考に、仲間の課題や出来映えを伝えている。 ②提供された練習方法から、自己の課題に応じて動きの習得に適した練習方法を選んでいる。
主体的に学 習に取り組 む態度	①勝敗などを認め、ルールやマナーを守ろうとしている。 ②用具の準備や後片付け、記録などの分担した役割を果たそうとしている。 ③健康・安全に留意している。

- 3 第1学年球技「バレーボール」の学習について、「中学校学習指導要領（平成29年告示）解説 保健体育編」を踏まえて、以下の単元計画を作成した。後の(1)～(3)の問いに答えなさい。

過程		つかむ	追究する							まとめる
	時間 (分)	1時間目	2時間目	3時間目	4時間目	5時間目	6時間目	7時間目	8時間目	9・10時間目
学習活動	10	1 <u>Aオリエンテーション</u> ・種目の特性 ・高まる体力の確認 ・安全上の留意点等	あいさつ、健康観察、本時のめあて（ねらい）の確認、準備運動							1 まとめの大会

- (1) 下線部Aにおいて、バレーボールを行う上で生徒に意識させるべき、「安全上の留意点」を2つ書きなさい。
- (2) 下線部Bについて、ゲームで十分にバレーボールの楽しさが味わえるよう、授業の前半で基本的なボール操作の習得と向上を目指す練習の時間を取り入れることとした。具体的な練習方法とその際のボール操作における技能のポイントを書きなさい。
- (3) 下線部Cでは、ラリーが継続するような簡易化されたゲームを行いたい。ラリーを継続させるための「ルール」や「用具の工夫」として考えられるものを、それぞれ書きなさい。

- 4 第3学年武道「柔道」の学習について、「中学校学習指導要領（平成29年告示）解説 保健体育編」を踏まえて、次の(1)～(3)の問いに答えなさい。

- (1) 相手の投げ技に応じて受け身を行う練習として、「膝車からの受け身」と「体落としからの受け身」の練習を設定した。この2つの練習を取り入れた意図を書きなさい。また、投げ技に応じた受け身を行う練習を行う際、安全に配慮した指導の工夫を書きなさい。
- (2) 第3学年では、「連絡技」を用いて、相手を崩して投げたり、抑えたりするなどの攻防を取り扱う。「連絡技」とはどのような技か、書きなさい。
- (3) 単元を通して、かかり練習、約束練習、自由練習を行った。それらの練習を行う際、「安全上の留意点」を書きなさい。

5 第2学年「ダンス」の学習について、「中学校学習指導要領（平成29年告示）解説 保健体育編」を踏まえて、次の(1)～(3)の問いに答えなさい。

- (1) 「フォークダンス」には、伝承されてきた日本の民踊や外国の踊りがあり、それぞれの踊りの特徴を捉え、音楽に合わせてみんなで踊って交流して楽しむことができる。「フォークダンス」として扱われる日本の民踊及び外国の踊りをそれぞれ1つずつ書きなさい。
- (2) 「ダンス」の学習を継続して取り組むことで、どのような体力が高まると考えられるか、2つ書きなさい。
- (3) 「ダンス」の学習における「学びに向かう力、人間性等」については、「仲間の学習を援助しようとする、交流などの話合いに参加しようとする、一人一人の違いに応じた表現や役割を認めようとする」などが示されている。本単元において「学びに向かう力、人間性等」を身に付けるために必要な学習活動の設定と、その活動における指導上の留意点について、「協力」や「参画」の視点から書きなさい。

6 第2学年体育理論「運動やスポーツの意義や効果と学び方や安全な行い方」の学習について、「中学校学習指導要領（平成29年告示）解説 保健体育編」を踏まえて、次の(1)～(3)の問いに答えなさい。

- (1) 「中学校学習指導要領（平成29年告示）解説 保健体育編 第2章 保健体育科の目標及び内容 第2節 各分野の目標及び内容 H 体育理論」において、「様々な違いを超えて、運動やスポーツを行う際に、ルールやマナーに関して合意形成することや適切な人間関係を築くことなどの社会性が求められる」とある。「様々な違い」とは、具体的にどのような違いであるか。3つ書きなさい。
- (2) 授業で、生徒は運動やスポーツの課題を解決するための合理的な体の動かし方を「技術」、合理的な練習によって身に付けた状態を「技能」ということを学習した。運動の技能を獲得するために、教師はどのような活動を設定したらよいか。2つ書きなさい。
- (3) 運動領域の授業において、安全に運動やスポーツを行うために留意することを、2つ書きなさい。（健康観察と準備運動は除く）

7 第2学年保健「健康な生活と疾病の予防」の学習について、「『指導と評価の一体化』のための学習評価に関する参考資料 中学校保健体育」の「第2学年 保健分野の事例（一部抜粋）」を参考に、次の(1)～(3)の問いに答えなさい。

- (1) 単元の目標の部分について、（ ア ）に入る一文を具体的に書きなさい。
- (2) 展開「なか」の部分である下線部イについて、どのような助言をするとよいか。具体的に書きなさい。
- (3) 本時の指導は、「知識」と「思考力、判断力、表現力等」に重点を置いた授業であったが、「努力を要する」状況と判断する生徒への手立てについて、個別にどのような支援をするか、具体的に2つ書きなさい。

「第2学年 保健分野の事例」（「『指導と評価の一体化』のための学習評価に関する参考資料 中学校保健体育」より）
単元名 生活習慣病などの予防 第2学年

1 単元の目標

- (1) 健康な生活と生活習慣病などの予防について、理解することができるようにする。
- (2) 生活習慣病などの予防に関わる事象や情報から自他の課題を発見し、生活習慣病などのリスクを軽減したり、生活の質を高めたりする視点から解決方法を考え、（ ア ）。
- (3) 生活習慣病などの予防について、自他の健康の保持増進や回復についての学習に自主的に取り組もうとすることができるようにする。

2 単元の評価規準

3 指導と評価の計画（4時間）

4 本時の指導案（2／4時）

（1）本時の目標

- 生活習慣病は、日常の生活習慣が要因となって起こる病気であり、適切な対策を講ずることにより予防できることについて理解できるようにする。
- ◎ 生活習慣病の予防における事柄や情報などについて、原則や概念を基に整理したり、個人生活と関連付けたりして、自他の課題を発見するとともに、習得した知識を活用し、生活習慣病を予防するための課題解決の方法を選択することができるようにする。

（2）展開

保健体育	解答用紙	2枚中の1	受験番号	中保体	氏名	(8年)
------	------	-------	------	-----	----	------

※欄には記入しないこと

1	(1)	A :		※
	(2)	(生徒)		
		(生徒以外)		

2	(1)	ア	イ	※
	(2)	①	(安全面で指導すること)	
			(安全面で指導すること)	
		②	(歩数)	
	(3)	(知識を評価するための学習カードの工夫)	(学習カードを活用した知識の指導の工夫)	

3	(1)	(安全上の留意点)	※
		(安全上の留意点)	
	(2)	(練習方法)	
		(技能のポイント)	
	(3)	(ルール)	
		(用具の工夫)	

4	(1)	(意図)	※
		(指導の工夫)	
	(2)		
	(3)		

保健体育	解答用紙	2 枚中の 2	受験 番号	中保体	氏 名	(8 年)
------	------	---------	----------	-----	--------	-------

※欄には記入しないこと

5	(1)	(日本の民謡)		※
		(外国の踊り)		
(2)				
(3)	(学習活動の設定)			
	(指導上の留意点)			

6	(1)			※
	(2)			
(3)				

7	(1)		※
	(2)		
(3)			

以下はあくまでも解答の一例です

保健体育	解答用紙	2枚中の1	受験番号	中保体	氏名	
------	------	-------	------	-----	----	--

(8年)

1	(1)	A：生涯にわたって心身の健康を保持増進し豊かなスポーツライフを実現する (10点)	
	(2)	(生徒) 生徒の心身の発達の段階や特性 等 (5点)	
		(生徒以外) 学校や地域の実態 等 (5点)	
2	(1)	ア 短距離走・リレー、長距離走又はハードル走	イ 走り幅跳び又は走り高跳び (完答5点)
	(2)	① (安全の指導) ハードルを反対側から走り越さないこと。 並べてあるハードルの前を横切らないこと。 等 (5点×2=10点)	
		② (歩数) 3又は5 (5点)	
	(3)	(知識を評価するための学習カードの工夫) (5点) 本時の目標やめあてが振り返られるような項目を設定する。 等	(学習カードを活用した知識の指導の工夫) (5点) 学習カードの記述を点検し、十分に書き込めていない生徒には追加の問いを行うなど、学習カードにコメントを返して理解を促す。 等
3	(1)	(安全上の留意点) (5点×2=10点) コート全体の安全を確保するため、ボールを放置しない。 突き指や手首足首の捻挫を防ぐために手指を伸ばしたり、手首足首をよく回したりする。 等	
	(2)	(練習方法) 投げ上げキャッチ 等 (5点)	
		(技能のポイント) ボールの中心付近で捉えることや、ボールの落下点にはいる。 等 (5点)	
	(3)	(ルール) ワンバウンドあり、キャッチありのルールとする。 等 (5点)	
		(用具の工夫) ボールへの恐怖心を少なくするために、痛くない柔らかいボールを使用する。 等 (5点)	
4	(1)	(意図) 2つの異なる投げ技でも、同じ方向の受け身で行うことができる。 等 (5点)	
		(指導の工夫) 受が膝立ちの状態から段階的に受け身を行う。 等 (5点)	
	(2)	技をかけたときに、相手の防御に応じて、更に効率よく相手を投げたり抑えたりするためにかける技。 等 (10点)	
	(3)	同じような体格や技能の生徒同士で行う。 等 (10点)	

以下はあくまでも解答の一例です

保健体育	解答用紙	2枚中の2	受験番号	中保体	氏名	(8年)
------	------	-------	------	-----	----	------

5	(1)	(日本の民謡) 花笠音頭 等 (5点)
		(外国の踊り) オクラホマミクサー 等 (5点)
	(2)	柔軟性、平衡性、全身持久力 等 (5点×2=10点)
	(3)	(学習活動の設定) 中間発表会、見合いの活動 等 (5点) (指導上の留意点) グループで話し合いをする時間を設定したり、 見たグループの良さや課題を記入できるような学習カードを用いたりする。 等 (5点)
6	(1)	体力の差 技能の差 年齢の違い 性別の違い 障害の有無 等 (10点)
	(2)	体の動かし方を見比べて、よい動き方を見つける活動 合理的な練習の目標や計画をたてる活動 等 (5点×2=10点)
	(3)	適切な水分補給 適切な休憩 等 (5点×2=10点)
7	(1)	適切な方法を選択するとともに、それらを伝え合うことができるようにする 等 (10点)
	(2)	ブレインストーミングを基にしながら、自分の生活を振り返ったり、調べたりしたことを話してみよう。 等 (10点)
	(3)	事例から読み取れる具体的内容を個別に説明する。 個人の生活を振り返らせたり、比べさせたりする。 具体的な生活場面を想起させる資料を示す。 等 (5点×2=10点)